



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月27日  
上場取引所 東 大

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社  
 コード番号 8707 URL http://www.iwai-cosmo-hd.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沖津 嘉昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務担当 (氏名) 笹川 貴生 TEL 06-6229-2800  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,350	△29.1	3,241	△29.3	△892	—	△742	—	△545	—
24年3月期第1四半期	4,722	7.7	4,585	9.8	△463	—	△255	—	△178	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △600百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △242百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△22.46	—
24年3月期第1四半期	△7.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	131,738	24,560	18.6
24年3月期	146,838	25,280	17.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 24,558百万円 24年3月期 25,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(注) 金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績予想を開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名） 除外 1社（社名）岩井証券株式会社

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」に記載しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	25,012,800株	24年3月期	25,012,800株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	728,704株	24年3月期	728,704株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	24,284,096株	24年3月期1Q	24,284,171株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績予想を開示していません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 受入手数料 .....	10
(2) トレーディング損益 .....	10
(3) 自己資本規制比率 .....	11
(4) 連結損益計算書の四半期推移 .....	13

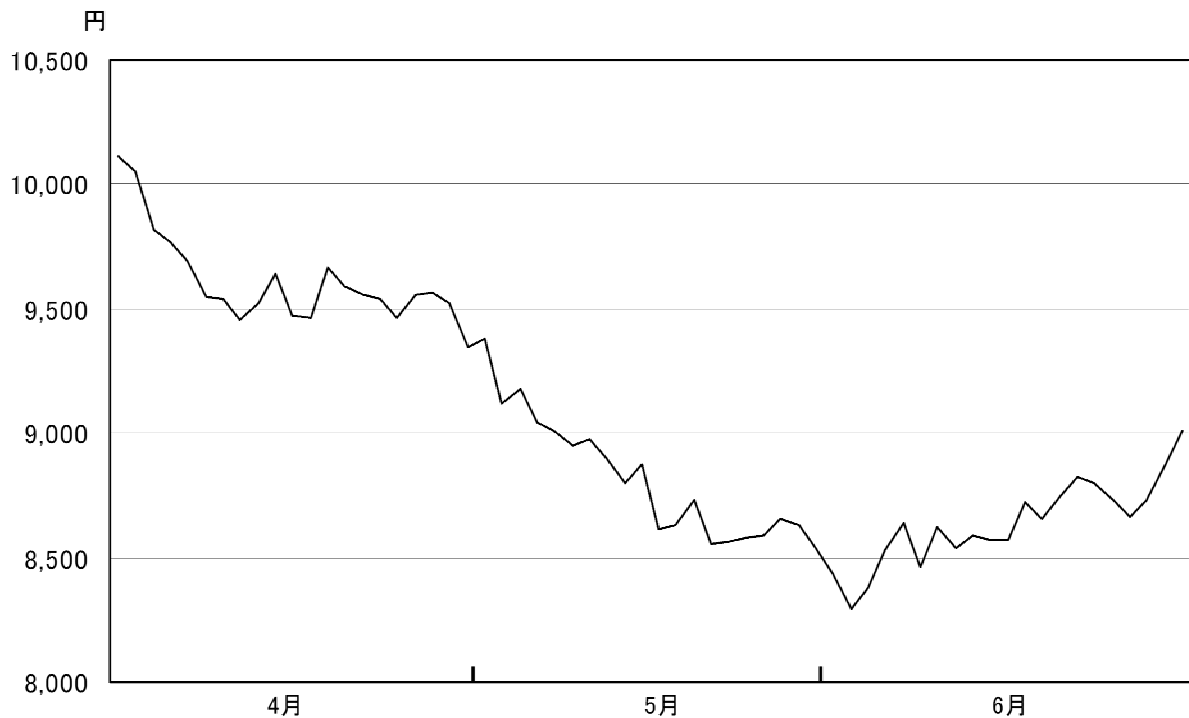
## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー減税等の政策を支えとして、一部に景気回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題の深刻化や海外経済の減速懸念に加え、長期化する円高やデフレ等の景気の下振れリスクを抱えて先行き不透明な状況で推移しました。

株式市場は、スペイン、イタリアの国債利回りの上昇など欧州債務問題の再燃を背景に下落基調で始まりまし。4月中旬以降は、日米の金融政策決定会合や国内主要企業の決算発表の本格化を控え様子見姿勢が強まり、日経平均株価は9,500円を挟み膠着状態となりましたが、5月に入ると、米国雇用統計が市場予想を大幅に下回ったほか、フランス、ギリシャの選挙で緊縮財政派の既存政権が敗退するなど、欧州の政局混迷を巡る財政再建への不安から、株価は再び下落基調となりました。また、その後も、ギリシャのユーロ離脱観測の高まりや円高ユーロ安の進行を背景として株価下落に拍車がかかり、6月4日には8,300円を割り込みました。もっとも、その後は、米国の追加金融緩和への期待に加え、ギリシャのユーロ離脱懸念の後退や円高修正の動きを好感して、株価は戻り歩調となり、6月29日の日経平均株価は9,006円78銭と9,000円台を回復して取引を終えました。

平成25年3月期第1四半期累計期間の日経平均株価(終値)の推移



一方、債券市場は、国債入札に対する警戒感の高まりから、長期金利の指標となる新発10年物国債利回り(以下、長期金利)は1.0%を上回る水準で始まりましたが、その後、スペイン、ギリシャをはじめとする欧州債務問題の深刻化に加え、米国及び中国経済の先行き不安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、長期金利は期間を通じて低下傾向となり、6月27日には0.800%となりました。

### (当社グループの業績)

このような状況のもと、当社グループは、当初の計画どおり、5月1日に、傘下の証券会社2社(コスモ証券株式会社、岩井証券株式会社)を合併(新商号:岩井コスモ証券株式会社)し、グループ経営の効率化及びシナジー創出により企業価値向上を具現化する新たなステージへと移行しました。グループの中核を担う岩井コスモ証券株式会社においては、国内株式市場が低迷する中、高い分配金が魅力のREITを対象とした投資信託や為替ヘッジ型の投資信託の販売を強化するなど、投資家ニーズ及び市場環境に応じた投資商品の提供に努めました。しかしながら、欧州債務問題や世界的な景気減速懸念を背景とする投資家のリスク回避姿勢を反映して、営業収益は3,350百万円(対前年同期比29.1%減少)、純営業収益は3,241百万円(同29.3%減少)とそれぞれ減収

を余儀なくされました。一方、販売費・一般管理費は、傘下の証券会社2社の合併によるコストシナジーの創出もあり4,134百万円(同18.1%減少)となりましたが、経常損益は742百万円の損失(前年同期は255百万円の損失)、四半期純損益は545百万円の損失(前年同期は178百万円の損失)となりました。

なお、平成24年1月23日に取りまとめました「収支改善計画」において、平成24年3月期に比べて30億円規模の費用削減策と内勤部門から営業部門へ約100名の配置転換による収益増加策を策定いたしました。前者につきましては、平成25年3月期第1四半期の販売費・一般管理費が、前年同期に比べて914百万円の減少となっておりますが、当第1四半期においては、合併(平成24年5月1日)前の岩井証券株式会社とコスモ証券株式会社のそれぞれのシステム料、店舗賃貸料等が含まれておりますので、第2四半期以降、さらに販売費・一般管理費の減少が見込まれるなど、費用の削減は計画通りに進んでおります。後者につきましては、平成24年6月末までに、60名超の異動を実施し、さらに、異動人員の増加を図ることで、今後の収益拡大に寄与することと考えております。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

#### (受入手数料)

受入手数料は2,089百万円(対前年同期比20.7%減少)となりました。内訳は以下のとおりであります。

##### ① 委託手数料

当第1四半期連結累計期間の東証1日平均売買高(内国普通株式)は19億92百万株(対前年同期比6.4%減少)、同売買代金(内国普通株式)は1兆2,193億円(同11.8%減少)となりました。一方、当社グループの1日平均株式委託売買高(国内)は28百万株(同24.9%減少)、同株式委託売買代金(国内)は109億円(同25.9%減少)と、それぞれ前年同期を下回り、株式を中心とした委託手数料は989百万円(同27.1%減少)となりました。

##### ② 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は、新規公開株式2銘柄の取り扱いがあったものの、社債の引受高の減少などから11百万円(対前年同期比20.7%減少)となりました。

##### ③ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、その他の受入手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、その他の受入手数料は、主に投資信託による収入で構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、引き続き高い分配金が魅力のREITを対象とする投資信託や為替ヘッジ型の投資信託、高い経済成長が期待される新興国を対象とした投資信託などの販売に注力したものの、円高やマーケットの低調に起因する運用成績の悪化に加え、欧州債務問題の深刻化や海外経済の先行き不安を背景とした投資家のマインド低下を反映して、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は650百万円(対前年同期比16.5%減少)となりました。また、その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬手数料を中心に438百万円(同9.8%減少)となりました。

#### (トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は214百万円(対前年同期比31.7%減少)となりました。また、債券等トレーディング損益は、外国債券の販売減少を主因に447百万円(同63.0%減少)となり、その他のトレーディング損益79百万円を含めた合計のトレーディング損益は742百万円(同51.9%減少)となりました。

#### (金融収支)

金融収益は、信用取引による金利収入の減少を主因として518百万円(対前年同期比4.6%減少)となりました。一方、金融費用は支払利息の減少などから108百万円(同20.8%減少)となり、差し引き金融収支は409百万円(同0.9%増加)となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、継続的なコスト削減への取り組みに加え、傘下の証券会社2社の合併及びシステム統合による削減効果により4,134百万円(対前年同期比18.1%減少)となりました。

(営業外収支)

営業外収支は、受取配当金を中心に150百万円の利益(対前年同期比27.5%減少)となりました。

(特別損益)

特別利益として、金融商品取引責任準備金戻入240百万円を計上しました。一方、特別損失として、ゴルフ会員権退会損26百万円、有価証券評価減8百万円を計上し、差し引き特別損益は205百万円の利益(前年同期は77百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は131,738百万円(対前連結会計年度末比15,100百万円減少)となりました。

流動資産は123,641百万円(同14,711百万円減少)となりましたが、主な要因は、顧客分別金信託や現金・預金の減少によるものであります。固定資産は8,097百万円(同388百万円減少)となりましたが、投資有価証券の減少等によるものであります。

一方、負債合計は107,178百万円(同14,380百万円減少)となりました。

流動負債は102,897百万円(同14,133百万円減少)となりましたが、主な要因は、信用取引貸証券受入金や顧客からの預り金、短期借入金の減少によるものであります。固定負債は4,018百万円(同5百万円減少)となりました。

純資産合計は24,560百万円(同720百万円減少)となり、自己資本比率は18.6%(前連結会計年度末は17.2%)となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、当社グループは業績・配当予想を開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった岩井証券株式会社は、平成24年5月1日付で、当社の連結子会社であるコスモ証券株式会社(同日付で岩井コスモ証券株式会社に商号変更しております)を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	13,202	6,394
預託金	57,718	48,275
顧客分別金信託	56,402	46,940
その他の預託金	1,316	1,334
トレーディング商品	6,131	6,406
商品有価証券等	6,111	6,398
デリバティブ取引	19	7
約定見返勘定	157	—
信用取引資産	45,001	45,475
信用取引貸付金	40,881	43,990
信用取引借証券担保金	4,119	1,485
有価証券担保貸付金	978	648
借入有価証券担保金	978	648
立替金	1,349	830
短期差入保証金	12,102	13,998
支払差金勘定	—	0
未収収益	1,150	1,051
その他の流動資産	569	568
貸倒引当金	△8	△10
流動資産計	138,352	123,641
固定資産		
有形固定資産	897	958
建物	76	112
器具備品	147	169
土地	673	673
リース資産	0	2
無形固定資産	1	4
ソフトウェア	1	1
電話加入権	0	0
その他	0	2
投資その他の資産	7,586	7,134
投資有価証券	5,842	5,655
従業員に対する長期貸付金	16	16
長期差入保証金	1,412	1,409
その他	628	347
貸倒引当金	△312	△294
固定資産計	8,485	8,097
資産合計	146,838	131,738

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
トレーディング商品	566	538
商品有価証券等	566	538
デリバティブ取引	—	0
約定見返勘定	—	1,277
信用取引負債	32,594	31,819
信用取引借入金	21,945	26,818
信用取引貸証券受入金	10,649	5,001
有価証券担保借入金	1,726	1,439
有価証券貸借取引受入金	1,726	1,439
預り金	31,428	23,666
顧客からの預り金	26,835	22,130
募集等受入金	2	—
その他の預り金	4,590	1,536
受入保証金	38,360	36,584
有価証券等受入未了勘定	3	—
受取差金勘定	7	0
短期借入金	8,570	4,900
1年内返済予定の長期借入金	450	450
リース債務	12	12
未払法人税等	82	23
繰延税金負債	2	1
賞与引当金	167	142
資産除去債務	121	74
リース資産減損勘定	74	48
組織再編費用引当金	1,747	1,251
その他の流動負債	1,116	664
流動負債計	117,031	102,897
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,150	3,150
繰延税金負債	475	469
退職給付引当金	4	19
負ののれん	0	0
リース債務	12	11
資産除去債務	200	208
その他の固定負債	180	157
固定負債計	4,024	4,018
<b>特別法上の準備金</b>		
金融商品取引責任準備金	502	262
特別法上の準備金計	502	262
負債合計	121,558	107,178



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	10,257	9,590
自己株式	△608	△608
株主資本合計	24,543	23,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	736	681
その他の包括利益累計額合計	736	681
新株予約権	—	1
純資産合計	25,280	24,560
負債・純資産合計	146,838	131,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業収益		
受入手数料	2,636	2,089
委託手数料	1,357	989
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	14	11
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	778	650
その他の受入手数料	485	438
トレーディング損益	1,542	742
金融収益	543	518
その他の商品売買損益	—	0
営業収益計	4,722	3,350
金融費用	137	108
純営業収益	4,585	3,241
販売費・一般管理費	5,048	4,134
取引関係費	856	656
人件費	2,185	1,856
不動産関係費	864	699
事務費	877	742
減価償却費	91	11
租税公課	66	50
その他	107	117
営業損失(△)	△463	△892
営業外収益	220	181
営業外費用	12	31
経常損失(△)	△255	△742
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	95	240
特別利益計	95	240
特別損失		
ゴルフ会員権退会損	—	26
有価証券評価減	18	8
特別損失計	18	34
税金等調整前四半期純損失(△)	△178	△536
法人税、住民税及び事業税	16	9
法人税等調整額	△16	△0
法人税等合計	△0	9
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△178	△545
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△178	△545

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△178	△545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△54
その他の包括利益合計	△64	△54
四半期包括利益	△242	△600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242	△600
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
委託手数料	1,357	989
(株券)	(1,237)	(919)
(債券)	(3)	(2)
(受益証券)	(7)	(14)
(その他)	(109)	(53)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	14	11
(株券)	(0)	(0)
(債券)	(14)	(10)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	778	650
その他の受入手数料	485	438
合計	2,636	2,089

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
株券	1,273	949
債券	26	23
受益証券	1,161	1,006
その他	174	111
合計	2,636	2,089

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
株券等	314	214
債券等	1,210	447
その他	18	79
合計	1,542	742

(3) 自己資本規制比率 岩井コスモ証券株式会社 (単体)

(単位：百万円)

		当第1四半期末 (平成24年6月30日)
基本的項目	(A)	26,206
補完的項目	(B)	921
	その他有価証券評価差額金(評価益)	653
	金融商品取引責任準備金	262
	一般貸倒引当金	4
控除資産	(C)	1,794
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)	(D)	25,332
リスク相当額	(E)	6,626
	市場リスク相当額	635
	取引先リスク相当額	1,216
	基礎的リスク相当額	4,774
自己資本規制比率 (%)	(D) / (E) × 100	382.3

(参考)

自己資本規制比率 旧岩井証券株式会社 (単体)

(単位：百万円)

		前第1四半期末 (平成23年6月30日)	前事業年度末 (平成24年3月31日)
基本的項目	(A)	10,880	10,136
補完的項目	(B)	632	881
	その他有価証券評価差額金(評価益)	457	706
	金融商品取引責任準備金	173	173
	一般貸倒引当金	1	1
控除資産	(C)	398	227
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C)	(D)	11,115	10,790
リスク相当額	(E)	2,265	2,150
	市場リスク相当額	218	319
	取引先リスク相当額	713	678
	基礎的リスク相当額	1,333	1,152
自己資本規制比率 (%)	(D) / (E) × 100	490.5	501.8

自己資本規制比率 旧コスモ証券株式会社(単体)

(単位：百万円)

	前第1四半期末 (平成23年6月30日)	前事業年度末 (平成24年3月31日)
基本的項目 (A)	21,041	16,703
補完的項目 (B)	331	331
その他有価証券評価差額金(評価益)	—	—
金融商品取引責任準備金	329	329
一般貸倒引当金	2	1
控除資産 (C)	3,147	1,892
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)	18,225	15,142
リスク相当額 (E)	5,201	4,639
市場リスク相当額	571	313
取引先リスク相当額	576	536
基礎的リスク相当額	4,052	3,789
自己資本規制比率 (%) (D) / (E) × 100	350.4	326.3

(4) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第1四半期 ( 23. 4. 1 23. 6. 30 )	前第2四半期 ( 23. 7. 1 23. 9. 30 )	前第3四半期 ( 23.10. 1 23.12.31 )	前第4四半期 ( 24. 1. 1 24. 3. 31 )	当第1四半期 ( 24. 4. 1 24. 6. 30 )
営業収益					
受入手数料	2,636	2,484	2,081	2,733	2,089
委託手数料	1,357	1,307	1,207	1,640	989
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	14	6	15	21	11
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	778	692	426	609	650
その他の受入手数料	485	478	431	462	438
トレーディング損益	1,542	767	833	1,036	742
金融収益	543	534	464	502	518
その他の商品売買損益	—	0	—	0	0
営業収益計	4,722	3,786	3,380	4,272	3,350
金融費用	137	152	110	130	108
純営業収益	4,585	3,633	3,269	4,141	3,241
販売費・一般管理費	5,048	4,939	4,789	4,501	4,134
取引関係費	856	798	752	706	656
人件費	2,185	2,107	2,092	1,919	1,856
不動産関係費	864	864	844	830	699
事務費	877	927	874	886	742
減価償却費	91	92	88	3	11
租税公課	66	46	40	50	50
貸倒引当金繰入れ	—	0	—	0	—
その他	107	102	97	104	117
営業損失(△)	△463	△1,305	△1,520	△360	△892
営業外収益	220	42	72	55	181
営業外費用	12	17	4	18	31
経常損失(△)	△255	△1,280	△1,452	△323	△742
特別利益	95	△0	9	△0	240
特別損失	18	499	3,204	259	34
税金等調整前四半期純損失(△)	△178	△1,779	△4,646	△582	△536
法人税、住民税及び事業税	16	30	△10	20	9
法人税等調整額	△16	△111	△764	8	△0
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△178	△1,698	△3,872	△611	△545
四半期純損失(△)	△178	△1,698	△3,872	△611	△545